

28棟が建設された。役宅と社宅の違いについては、「日立工場五十年史」によると、「創業当時の久原鉱業で使用していた呼称方法をそのまま使用したもので、いわゆる旧社員用住宅を「役宅」と呼び、これに対し旧工員用住宅を「社宅」と呼称したが、昭和21年の社工員身分撤廃により、以後は一樣に「社宅」と呼ぶようになった」と記されている。社員と工員には厳然とした

本棚の片隅から市販の都市地図が出てきた。「日立市街図」で1979年発行とあるが、しるされた会瀬小学校は初代の木造校舎であり体育館はない。昭和45年（1970年）から体育館工事は始まり木造校舎の撤去が昭和48年であるからこの「日立市街図」は昭和40年頃の日立を表わしている。50年前に比べて最も変わった地域は会瀬3・4丁目である。会瀬3・4丁目は日立製作所の福利施設や社宅や寮で占められていた。昭和29年（1954年）発行の日立工場年譜によると昭和15年（1940年）会瀬グラウンド競技場完成、16年に体育館、野球場が完成している。同時に見習生寮が完成し修井寮（しゅうせいりょう）と命名された。上ノ内と兎平にも社宅が建設されている。現在の会瀬3・4丁目地区では16年に会瀬社宅39棟、17年に稲荷山女子寮、潮音クラブ、会瀬社宅38戸、19年に会瀬役宅一戸建15棟、二戸建19棟、小山役宅67棟、石倉（現在の兎平郵便局周辺）社宅

ふるさと会瀬から

昭和40年代の会瀬の都市地図



昭和40年代の会瀬社宅地図

身分の違いがあったのである。当然、役宅と社宅では敷地の広さや間取りに違いがあった。同じ役宅でも昭和16年に建設された兎平に近い地所の役宅と、現在の鹿島神社裏参道から西側の地に、戦局が悪化した昭和19年に建設された小山役宅では大きな差があった。昭和20年の爆弾攻撃・艦砲射撃・焼夷弾攻撃に際しても会瀬3・4丁目の社宅や寮の多くは被災しなかった。以後、近年まで市街の形態は大きく変化することなく推移し、参考市街図のような市街地を形成していた。現在、古い社宅が取り払われ現代風の宅地造成が進み、新しい市街地が出現しつつあるこの地の、昔日の姿をしのぶよすがとして記録した。



・「かんしよの坂」は会瀬1丁目の会瀬交流センター入り口近辺から相賀町に至る坂で閑居（隠居所）があったことから名がついたと考えられています。



・「舟入りの坂」は海水浴場駐車場から相賀町に通じる坂です。坂の降り口付近は別荘地でした。



・「潮音坂」（しおね）は戦時中に使用された「潮音町」から命名され、旧鉾山クラブから海岸に至る坂で昔、海水浴客でにぎわった坂道です。車の通行が可となりました。



津波避難通路整備工事が完了しました。通路を表示するため避難に使用する坂に名前が付けられました。降り口と登り口に標示されています。旭町3丁目には「くるま坂」会瀬学区内では最も急な坂です。くるまは「水車」の車です。雨降川を利用した水車を川に面した柴田氏が経営していたので会瀬では柴田氏を「くるま」と称してました。

会瀬学区「三世代敬老の集い」9月3日(土) 会瀬小学校体育館

地区別出席状況 (対象者80歳以上・昭和12年4月1日以前生れ) 単位:人

地区名	対象者数 (米寿内数)	出席者数			欠席者数(%)
		本人出席(%)	代理出席(%)	合計(%)	
旭・相賀	103 (13)	15 (14.6)	66 (64.0)	81 (78.6)	22 (21.4)
会瀬1	96 (6)	22 (22.9)	43 (44.8)	65 (67.7)	31 (32.3)
会瀬2・幸町	108 (9)	46 (42.6)	36 (33.3)	82 (75.9)	26 (24.1)
会瀬3・4, 中成沢	50 (4)	11 (22.0)	18 (36.0)	29 (58.0)	21 (42.0)
東成沢	136 (9)	32 (23.5)	43 (31.6)	75 (55.1)	61 (44.9)
合計	493 (41)	126 (25.6)	206 (41.8)	332 (67.3)	161 (32.7)

【本人出席内訳】男:59人(最高齢93歳) 女:67人(最高齢91歳)



米寿の



みなさま

第1回日立地区コートゲーム大会開催

会瀬チーム優勝

日立市で普及活動に取り組んでいる「4（フオー）コートゲーム」を8月28日（日）主催日立地区体育振興会、会場は中小路小学校体育館で開催されました。参加学区チームは（宮田・仲町・助川・会瀬・中小路）で見事会瀬チームが優勝しました。

優勝おめでとう

会瀬再発見ウォーク開催

「いにしへの会瀬の浦をめぐる」
9月25日（日）晴天の中11名の参加
*19紀初めの「会瀬旧述」に記された会瀬八景をたどり、大きく変化した、歴史の流れを見つめるコースでした。
会瀬交流センター
↓集合堤防
↓海水浴場
↓初崎
↓防空壕
↓別荘跡
↓相賀館跡
↓漁港
↓会瀬交流センター
【全行程約4キロ】

避難通路看板設置

津波避難通路整備工事が完了しました。通路を表示するため避難に使用する坂に名前が付けられました。降り口と登り口に標示されています。旭町3丁目には「くるま坂」会瀬学区内では最も急な坂です。くるまは「水車」の車です。雨降川を利用した水車を川に面した柴田氏が経営していたので会瀬では柴田氏を「くるま」と称してました。